

# 病害虫発生予察注意報 第 1 号

## 病害虫名 果樹カメムシ類

1 発生予想 果実を吸汁加害するカメムシ類が、今後多発する恐れがある。

2 対象地域 県下全域の果樹栽培地帯

### 3 根拠

- (1) 果樹カメムシ類の中でもチャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘殺数が、宮田村で 5 月第 5 半旬から、高森町で 6 月第 4 半旬から急増している(表 1、図 1)。
- (2) 気象庁 6 月 25 日発表による向こう 1 か月の気象は、平均気温が平年よりも高い確率が 60% (平年並 30%、低い 10%)、降水量は平年並または少ない確率がともに 40% (多い 20%) と予想されており、カメムシ類の活動に比較的好適である。
- (3) 現在、県内全域の果樹園においてカメムシ類の飛来が確認されている。今後、気温の上昇に伴ってさらに飛来数が増加し、果実への被害拡大が懸念される。

### 4 防除対策と留意点

- (1) チャバネアオカメムシは主に広葉樹林の落葉下で、クサギカメムシは主に建物の隙間で越冬し、4 月～5 月は越冬場所付近の果樹園で発生が多い。7 月以降はヒノキやスギの林で繁殖し、8 月以降に当年世代成虫が現れる。当年世代成虫の発生はヒノキやスギの林付近の果樹園で多くなる。  
大発生する年は、果樹園でも 6 月下旬から 7 月下旬にかけての発生が多い。両種は、成虫が果樹園に飛来し、幼果・成熟果を問わず加害するので、発生動向に注意して防除を行う。
- (2) 発生時期及び発生量は年によって異なるが、両種とも移動範囲が広いので、できるだけ広域一斉防除を行うのが望ましい。
- (3) 使用する薬剤は、表 2 を参考に選択する。合成ピレスロイド系薬剤の効果は高いが、使用地域が指定されていることに留意するとともに、多用すると他の害虫の異常発生を招くおそれがあるので注意する。
- (4) 気温の高い日が 2～3 日続くと移動が活発になることが多いので、今後の気象情報、発生予察情報に注意する。

表 1 集合フェロモントラップへのチャバネアオカメムシの誘殺数

	宮田村			高森町(南信農業試験場内)		
	本年	H21	H20	本年	H21	H20
5月 第1半旬	0	-	0	0	0	0
2半旬	0	-	0	1	2	0
3半旬	0	0	0	0	0	0
4半旬	2	1	0	1	0	1
5半旬	15	0	2	1	0	0
6半旬	0	1	0	0	0	2
6月 第1半旬	13	0	0	6	0	5
2半旬	18	6	1	4	1	1
3半旬	15	7	2	1	0	0
4半旬	7	9	1	25	1	0
5半旬	17	4	2	6	0	2
6半旬		7	2		2	2
7月 第1半旬		5	3		4	2
2半旬		2	3		0	2

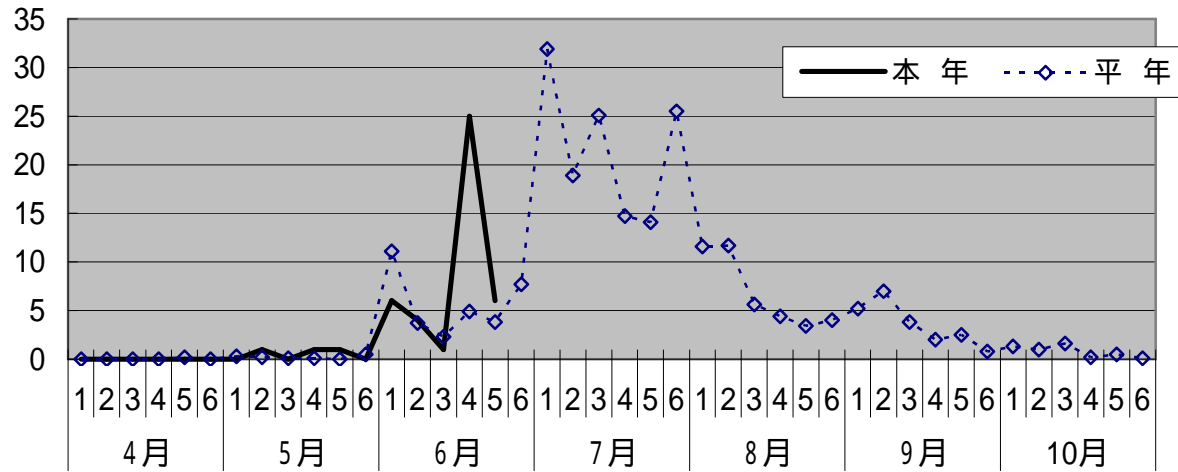


図1 集合フェロモントラップによるチャバネアオカメムシの誘殺消長(高森町:南信農業試験場内)  
(注) 平年は2000年~2009年の平均値

表2 果樹カメムシ類に対する主な防除薬剤と使用基準

作物名	系統	薬剤名	希釈倍率	収穫前使用基準	使用回数
りんご	有機リン	スミチオン水和剤40	800~1000倍	30日前まで	3回以内
	有機リン	スプラサイド水和剤	1500倍	30日前まで	2回以内
	ネオニコ	アクタラ顆粒水溶剤	2000倍	7日前まで	2回以内
	ネオニコ	アルバリン/スタークル 顆粒水溶剤	2000倍	前日まで	3回以内
	ネオニコ	ダントツ水溶剤	2000~4000倍	前日まで	3回以内
	ネオニコ	モスピラン水溶剤	2000~4000倍	前日まで	3回以内
なし	有機リン	スミチオン水和剤40	800~1000倍	(有袋)14日前まで (無袋)21日前まで	6回以内 6回以内
	有機リン	スプラサイド水和剤	1500倍	(有袋)7日前まで (無袋)45日前まで	3回以内 2回以内
	合ピレ	MR.ジョーカー水和剤	2000倍	14日前まで	2回以内
	ネオニコ	アルバリン/スタークル 顆粒水溶剤	2000倍	前日まで	3回以内
	ネオニコ	ダントツ水溶剤	2000~4000倍	前日まで	3回以内
	もも	有機リン	スミチオン水和剤40	800~1000倍	3日前まで
合ピレ		アーデント水和剤	1000倍	前日まで	3回以内
合ピレ		アグロスリン水和剤	2000倍	7日前まで	5回以内
合ピレ		テルスター水和剤	1000倍	14日前まで	2回以内
ネオニコ		アルバリン/スタークル 顆粒水溶剤	2000倍	前日まで	3回以内
ネオニコ		ダントツ水溶剤	2000~4000倍	7日前まで	3回以内
ぶどう	ネオニコ	モスピラン顆粒水溶剤	2000~4000倍	前日まで	3回以内
	ネオニコ	アルバリン/スタークル 顆粒水溶剤	2000倍	7日前まで	2回以内

系統の「合ピレ」は合成ピレスロイド剤、「ネオニコ」はネオニコチノイド剤を示す。

合成ピレスロイド剤は使用地域の指定があるので、使用にあたっては病害虫防除所、農業改良普及センター、JA等へ照会して確認する。

長野県病害虫防除所  
担当: 宮島明博(所長) 木曾秀紀(担当)  
TEL:026-248-6471 FAX:026-248-6473  
E-mail:bojo@pref.nagano.lg.jp